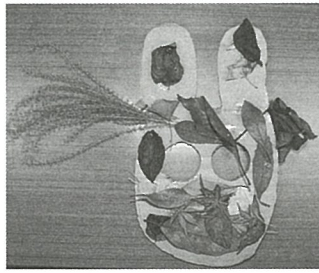




1年 竹内 香耶さん

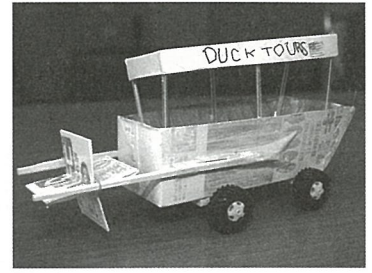


『うさぎのおめん』

※ダンボールのおめんに、木の葉やすずきをはるとき、とても楽しかったです。



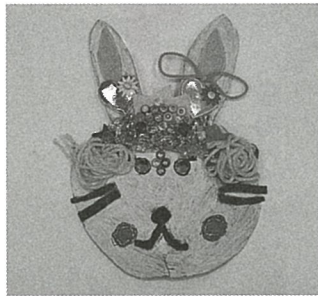
1年 鈴木 陸真さん



『水陸両用車』

※夏休みに、家族でハワイにいった時に乗って、かっこよかったです。

あつまれ みんなの力作

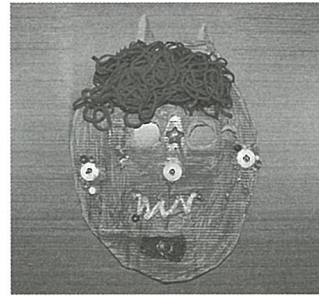


『ビーズのうさぎ』



2年 林 茉莉花さん

※ビーズをたくさんつかってうさぎのおひめさまを作りました。



『カラフルおに面』



2年 加瀬 広樹さん

※赤おにのお面を作りました。毛糸やビーズ・ボタンをくふうしてつけました。



3年 渡辺 美稀さん

三年わたなへみぎ

ビル



※私は、習字が大好きです。この作品は、字の中心、とめ、はらいにきをつけて書きました。

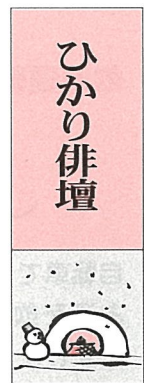


3年 齋藤 友貴さん

三年斎藤友貴

カ

※はらいにきをつけてかきました。自分の名前を書くのがむずかかったです。



神の留守社の庭も閑散と 伊藤 定男(尾垂)

好きな人遠くに行きし出雲の地 越川 義則(二又)

祈らずのおれぬ就職神無月 越川 福子(宮内)

蛙守る月の若きや神無月 川島 重一(尾垂)

神無月打順の響き野辺に聞く 土屋美枝子(宝米)

神無月風が寒いか雲を着る 小松 藤男(谷中)

寸評 十一月の句会は、「神無月」を季題としました。

日常生活の中の出来事を十七文字で詠った作品で、作者各位の季節の詩であると思います。10月は、全国の八百万(ヤオロズ)の神々が年一度、出雲大社に集まるため、日本中の神々が留守になるので神無月と名がつけました。従って出雲の国では神在月と云います。

選者吟 選者 大谷 武彦 一人旅神有月の出雲路へ